学校番号	１０１２

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	産業社会と人間	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校での学習は、講義を聴いて、知識・技能を習得するという形の授業ばかりではありません。皆さんが課題に主体的に取り組み、調べ、研究し、自分の考えを発表するという授業が多くなっていきます。自ら学び、考え、行動する力を育成することが高校での大きな目標になっていくからです。そういう主体的な学習の方法を身に付けることも「産業社会と人間」の大きな目標です。

2　学習の到達目標

【a.知識及び技能】

自己の生き方を探求するという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、将来の職業選択や人との関わりに必要な知識や姿勢を身に付ける。

【b：思考力・判断力・表現力等】

現代の産業社会やこれまでの社会の変化について認識し、豊かな社会を築くために自己の生き方在り方について考えるとともに、その実現に向けた計画を作成し、言葉にして他者に分かりやすく伝えることができるようになる。

【c：学びに向かう力・人間性等】

話し合いやプレゼン、体験学習などで人と積極的に関わろうとし、自他の考えを大切にして積極的に合意形成を図ろうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を身に着ける。	わが国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考える。 自己の将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた高校での履修計画を作成する。	自ら主体的に課題について調べ・話し合い・発表しようとしている。体験・実習・調査・討論・発表・論文作成等、主体的に研究している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自己／他者理解、合意形成	・ジョハリの窓 ・自分の取扱説明書を書こう ・パーソナルスペース ・真冬に遭難したら ・あなたはニュースキャスター ・まわし読み新聞 ・わたしの HOT ワード	a:自己を見つめなおし、他者を理解して協働するためのスキルを身につける。 b:現代社会の諸課題について、自分の興味関心のあるものは何か考える。 c:自己理解、他者との協働、現代社会の課題について考えようとしている。	ワークシート	レポート	ふりかえり
2	職業理解	・自分史をつくろう ・あなたのいいところ探し ・仕事オークション ・ブランド・ハップンスタンス ・私の「幸せ」の定義 ・サマーワーク	a:自分自身のこれまでの経験を振り返ることができる。 b:自分の強みを理解し、どのような人生を送りたいか考えることができる。 c:自分自身のこれまでを振り返り、自分がどのような人生を生きてゆきたいか考えようとしている。	ワークシート	レポート	ふりかえり
	ジャンル別課題学習1	・リサーチデー事前学習 ・リサーチデー ・リサーチデーレポート ・リサーチデー内容発表	a:自分の関心のある社会課題について、基礎知識を身につけることができている。 b:自分の関心のある社会課題について、自分の生活に引き付けて考えている。 c: 自分の関心のある社会課題について、考えようとしている。	ワークシート	レポート	ふりかえり
3	ジャンル別課題学習2	・コンペティション(発表大会)に向けた学習 ・コンペティション(発表大会)	a:自分が学んだことを聴き手に分かりやすく伝えるスキルを身につけている。 b:自分に何ができるか考え、実践することができる。 c:自分に何ができるか考え、実践しようとしている。	ワークシート	レポート	ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度